

順位	氏名（議席）	発言の要旨
24	石川 浩司（4）	<p>1. 富士市のスポーツ観光を含む観光行政について</p> <p>本市の観光行政は、平成27年度から令和6年度までの10年間を計画期間として平成27年3月に策定した富士市観光基本計画に基づき、令和2年度の後期改訂と見直しを経て、富士市特有の素材を生かした観光施策を展開してきました。</p> <p>現在は、令和7年度から始まる第2次観光基本計画策定のために策定会議を開催しています。第2次観光基本計画は今後10年間のかじ取りとなる重要な計画になるため、本市の観光を大いに飛躍させるためにも、観光行政を多角的に検討する必要があると考え、以下質問します。</p> <p>(1) 第1次観光基本計画での成功例や課題を踏まえ、時代の変化等から第2次観光基本計画で大きく変更となるビジョンはあるのか。</p> <p>(2) 第2次観光基本計画策定に当たり、市民の声をどのように反映していくのか。</p> <p>(3) 第2次観光基本計画策定のために策定会議を開催しているが、この会議の構成メンバーはどうなっているか。また、会議で話し合った内容についてはどのように捉え、反映していくのか。</p> <p>(4) スポーツ交流事業に関する新たな取組はあるのか。</p> <p>(5) 自転車による地域活性化を目指し、これからのサイクルスポーツを含めどのような方針で行くのか。</p> <p>2. 荒廃農地解消のための今後の取組について</p> <p>現在、我が国では人口減少が加速する中で、同時に高齢化も進んでいます。本市でも高齢化の構図は同じように進んでいます。農業を中心とした第一次産業は担い手不足が進み、特に田畑の荒廃が地区によっては加速的に広がっています。</p> <p>市街化調整区域を含め、それらの土地を今後どのように活用し、また、後継者や利用者をどのように確保するのか、以下質問します。</p> <p>(1) 今年度中に地域計画を策定することが義務づけられたが、どのようなスケジュールで策定するのか。</p> <p>(2) 荒廃農地が市内にどの程度存在しているか把握しているのか。</p> <p>(3) 荒廃農地への対応として、農地中間管理事業の活用が考えられるが、富士市としてこれまでに活用した実績はあるのか。</p> <p>(4) 荒廃農地をこれ以上増やさないため、新たに農業を始めたいと思う方への支援は考えているのか。</p>